

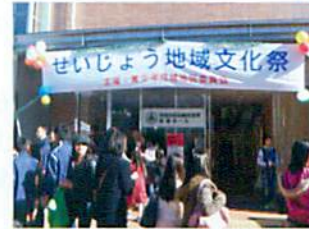
成城の風

発行者 青少年成城地区委員会会長 坂出雅海 事務局 世田谷区役所 成城出張所 3482-1348



第12回せいじょう地域文化祭 ◆平成23年12月4日◆ 成城ホール

わたしたち青少年成城地区委員会の最大の事業である地域文化祭が、今年もたくさんの方々のご協力で無事に開催されました。約100名の中学生ボランティアとともに前日の準備から当日の後片付けまで、めいっばいがんばって作り上げた、地域の手作りの文化祭。12年間積み重ねた小さなアイデアや工夫、中学生や地域の方々のご協力の様子を、限られた紙面で、その一部ではありますがご紹介したいと思います。



千歳小、明正小のお父さんたちが飾り付けてくれました



ステージ

ダンスにバンドにマジックに、地域の才能が集結！



司会の中学生 もちろん 照明・音響も中学生

中学生ボランティアの希望するコーナーNo1は模擬店 明正小 PIA もお手伝い



庄巻の都市大付属中高吹奏楽部



大人気の占いコーナー 実はベテラン委員が子どもたちの小さな相談に親切に答えています

模擬店



成城さくら児童館のわたあめ機で中学生たちはがんばっています 大人気で長蛇の列

4階



フェイスペイント 手にも描きます



展示コーナーには地域の中高校生やアルテンハイムのお年寄りの作品



盛り上がった じゃんけん大会



わりばし鉄砲の作り方を教える中学生ボランティア



小さな子どもたちと遊ぶ「キッズコーナー」は中学生たちが考えた手作りの遊びがいっぱい ペットボトルボーリング



ーチャリティーバザーのにぎわい

駐輪場整理の中学生ボランティア

成城学園が敷地の一部を貸してくれました



中学生記者の見た地域文化祭

今年のせいじょう地域文化祭は多くの方々に来てくれました。舞台では、多くのバンドやダンスグループが熱いパフォーマンスを見せてくれました。4階では砧中学校の生徒による漢字の絵が展示してあり、ユニークな発想があり「おもしろい」という声を聞きました。

展示室では3つの中高とひとつのグループの力作がありました。他にも小さな子どもたちにはゴム鉄砲やボウリングなどのコーナーが大盛況でした。

今年の特徴は3月11日の東日本大震災の被災地に売上金を寄付するチャリティーバザーがあったことです。多くの方にご協力いただきありがとうございました。

僕は初めてこのボランティアに参加しました。大役をまかせてもらいプレッシャーがありました。とても楽しかったです。みなさん、また来年も文化祭に来てください。(砧中 H)

素まつぶ隊 ◆平成24年3月3日◆

今年度のテーマは「みんなで探そう成城の絶景、われら成城の名カメラマン！」。第2回目の今回も、まちを歩きながら紙作りのカメラのファインダー(穴)から景色をのぞき、眼に映った風景をフィルム(紙)に描いてみるという形で行いました。



できた写真(絵)を素まつぶ(白地図)に貼りました。

中学生からの投稿

成城には留学生会館があります(編集部註:住所は上祖師谷)。その近くのスーパーや公園などでは留学生をよく見かけることがあります。留学生といっても様々な国の人がいるため、共通語は英語。けれど人それぞれ母国語風の特徴があるようです。

先日、フィールドフェスティバルに参加した際に金髪に青目のかわいい男の子をつれたお母さんがいました。かわいかったのしばらく見ているとその子がころんでしまいました。するとそれを見ていたお母さんは子どもにたいして、目をきちんとあけていない、この一言を言って立ち上がる子どもを見守っていました。

それを見て私は安心感を覚えました。なぜなら、私も昔から親にそのように育てられていたからです。このようなスタンスで日本で暮らしていると、ういてしまいます。そのため人とぶつかってしまうこともありました。

しかし広い世界でみると、正しさというものにもさまざまな基準があるのだ、ということにこのときに気付くことができました。

(千歳中 S)

中学生事業部会より

中学生事業などと大きな名前がついていますが、この部会で最近力を入れているのは中学生ボランティアの募集とその関わりです。

地区委員会と中学生ボランティアとの関わりは10年以上前からのことになります。今では私たちのメインイベントにまでなった「せいじょう地域文化祭」が砧中学校で行なわれた頃から、生徒会の皆さんを中心に中学生にもお手伝いをお願いしてきました。

初めはごく少人数でしたが、中学生と関われる楽しさや意義を感じてボランティア募集人数も増えていきましたし、中学校の部活から率先して加わってくれることもありました。

また地域文化祭だけでなく、他の事業でも中学生に手伝ってもらいたいということから、昨年度からは中学生事業として年度初めに(6月にはなっていますが)一括して募集することになりました。

今年度も砧と千歳の両中学校にボランティア募集のお願いに伺い、募集用紙の配布をさせていただきました。追加の募集もありましたが、今年度は延べ126人のボランティアの中学生が活躍してくれました。

また今回は各事業後にボランティアの皆さんに簡単なアンケートを取ったところ、中学生の率直な意見や感想を聞くことができ大きな成果を感じました。中には文句や苦情もありましたが大半は感謝やお礼の言葉にあふれ、やりがいを感じた、またやりたいなどの回答でした。

これらは私たち地区委員にとっておおきな励みになると同時に次への課題も示してくれたと考えています。アンケートの中では仕事にやりがいを感じている様子とともに、もっと自分たちの手でやらせてほしいという意見も混じっていたのです。少数ではありますが、与えられた仕事をこなすだけでなく、もっと主体的に関わろうとする気持ちに中学生の力強さを感じました。

今では「せいじょう地域文化祭」に中学生は不可欠な存在になっています。中学生との関わりを求め、お手伝いを期待していた当初とは中学生ボランティアの規模も内容も変わってきています。

中学校でのキャリア教育ともあいまって、地域で中学生を育てるという視点から私たちは中学生と関わっていく必要があるのではないかと改めて感じた一年間でした。(永田)